

特36-252



1200800187692

特36

252



始



卷36
252

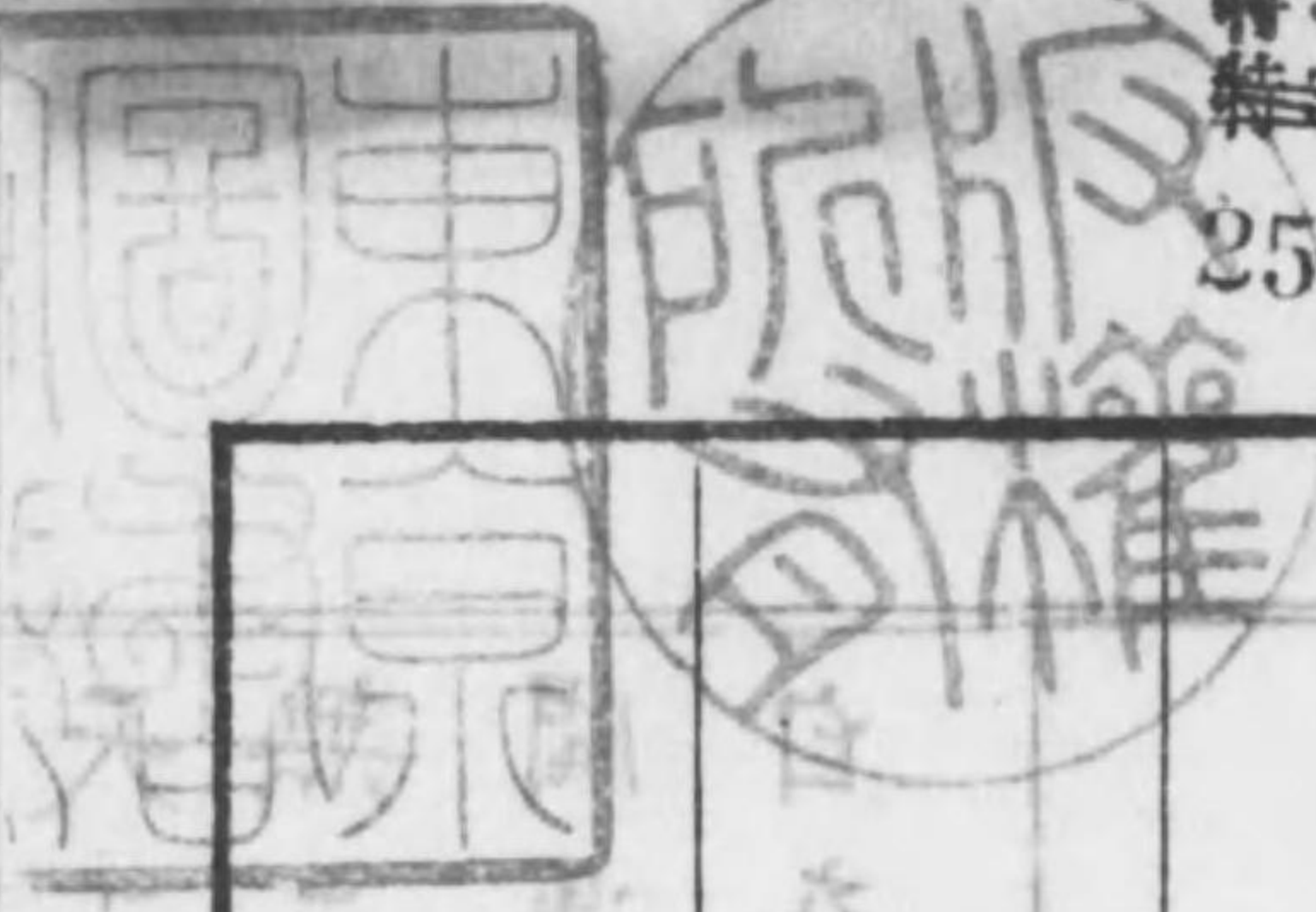
天無二下
開運
自在

地知
天悟

人心究理
幹枝術
本人限り禁他眼

自二卷
至五卷

初傳全



人心究理
幹枝術

本人用禁外眼

東京 大藏館 藏



帝幹技組織變蘇活澁真理發明元首

大教正木島大照齋藤原德實著述

天下

無二

開運

自在

天悟

祕書七部傳之内

心究理幹技術祕傳

地知

本人限禁他眼

東京 大礎館藏板

自叙

予カ多年經驗ニ由リテ發明セル幹技術ノ大

眞理ハ彼ノ三易九星ノ類ト異ナリテ宇宙間

萬般ノ原機十幹ト十二枝トノ引力推歩出沒

變化ノ線路ヲ説明スルモノニシテ曠古未曾

有ノ神術ナリ此ノ神術ハ覆載間ノ世事人事

ハ勿論物ノ有形ト無形トニ拘ハラズ細大ノ

吉凶禍福善惡邪正ヲ豫言スルニ的中セズト

云フコトナシ請フソノ發明ノ起因ヲ左ニ陳



ベン

人生ノ希望ハ避災開運脩身齊家ニ過キス然ルニ多少ノ教育アル者ニシテ動モスレハ自ラ徳ヲ損シ産ヲ傾クルモノ往々ニシテアリ甚シキニ至リテハ身ヲ懲刑ニ處セラル、者スラアリ是ニ反シテ貧家ノ子弟學ナクシテ家ヲ興シ國ヲ治メ天下ニ英名ヲ轟カス者モ亦往々ニシテアリ是レ何ニ由リテ然ルカ昧者ハ以テ神佛ノ賞罰ト爲シ然ラザレハ因果

ノ應報ト爲ス夫レ然リ豈ニ夫レ然ランヤ余曾テ海外ニ遊ビ遍ク五洲ノ地勢ニ考へ而シテ大ニ悟ル所アリ夫レ大地球ハ幹枝ノ中ニ含有セラル、故ヲ以テ幹ノ十位ト枝ノ十二位トハ常ニ大地球ヲ左右ス之ヲ詳言スレハ十二枝ハ日輸出沒ノ外部ニソノ位置ヲ占メテ十幹ハ其ノ内部ニ發動元機ノ位置ヲ占メテ而シテ全般ヲ活動ス是故ニ地球上ニ出沒スルモノハ皆幹枝ノ應用ナラザルハナシ之ヲ

人ニ譬ヘンニ幹枝ハ即チ男女五臟六腑ノ數ナリ男ノ五臟ト女ノ五臟ト是レ十幹ナリ男ノ六腑ト女ノ六腑ト是レ十二枝ナリ此幹枝引力線路相合シテ子孫ヲ生育シ大ハ以テ世界ヲ組織ス而シテ人事變蘇ノ用數ハ既ニ六千二百廿万八千餘ニ轉ス是ニ於テカ覆載間ノ吉凶禍福善惡邪正ノ原理ヲ看破シタリ是ノ活動タルヤ實ニ幹枝ノ神術ナリ蓋シ世ノ父子兄弟ニシテ性質ノ異ナルハ年月日時ニ

甲子乙丑ノ別アルカ如シ父ハ甲ニ宿リテ子ハ乙ニ宿ラハ其性質ニ於テ豈ニ甲乙ノ差ナカランヤ德僻適業氣運時期痼疾等ノ機律モ亦然リ天下一切ノ事皆之ニ準ジテ知ルヘシ然ラハ則チ我カ神術ハ悉ク覆載間ノ事一トシテ知リ得ベカラザルハナシ故ニ禍ヲ未然ニ防キ害ヲ未萌ニ避ケル爲ニ富國強兵ノ基ヲ開キ以テ脩身齊家ノ本ヲ立ツベシ今此ノ神理ヲ説明スルニ初傳中傳奧傳ノ三書ヲ以

テシ尙ソノ奧秘ヲ七科目ニ分チテ著述シ明
治十五年內務省ノ公許ヲ經テ之ヲ世ニ公ニ
シタリ爾後我カ神術ヲ學ブ者日一日ヨリ多
ク隨テ射利ノ徒妄ニ何術何學ト稱シテ竊カ
ニ余カ神術ヲ剽窃スルモノアルニ至レリ是
ノ如キノ徒ハ神術ノ何物タルヲ知ラス佞辨
甘言巧ニ世人ヲ瞞着シ無辜ノ信者ヲシテ五
里霧中ニ彷徨セシム豈ニ慨スベキノ至ナラ
スヤ是ニ於テカ余今回幹枝術ノ初傳ニ更ニ

應用法ヲ加ヘ増訂シテ獨學ニ便セントス若
シ夫レ此門ヨリ入ラバ幹枝ノ奇機妙用釋然
トシテ氷解シ進ンデ天下ノ百事万件一トシ
テ已カ意ノ如クナラザルハナケン有志ノ士
ハ海ノ内外ヲ問ハズ來テ我カ門ニ入レ余ハ
諸士ノ爲メニ誨諭ノ勞ヲ辞セサルナリ

○去僻成德之導話

○ 僻へのさと僻を制すが幹枝術ノ見よく

○ 僻といふ僻は邪心の事あるぞ
信用かぬやうにせよ

○ 働は無上の位置に進む身の業あり

○ 稼ぐに由る僻廢さねは何かせん
國を富ますもかく社ありけれ



● 天悟地知 人心究理 幹枝術

天稟 常用 秘録 初傳中ノ三卷

○ 幹枝ノ組合三輪ノ説

余ハ天稟幹枝ノ活用及ヒ其組合三輪ノ説ヲ

論セントス人々夙ニ其運宮禍福ヲ知ラント

セハ先ツ幹枝ノ組合其三輪ヲ能ク知ルヘシ

其三輪トハ互ニ誕生セシ年月日時ヲ知テ之

レニ溯リ懐妊セシ歳ノ幹枝ヲ大輪トシ其月

ヲ中輪トシ其日ヲ小輪トシ其時ヲ小小輪ト

ス該誕生ノ年月日時是レニ八品ヲ附要シ斯

首書 天稟 常用 秘録 初傳中ノ三卷

ル幹枝品此三點ノ區域ヲ明カニシ以テ之レ
ヲ其三輪ト道フヘシ時ハ傳ニ示ス

○八品ノ説

一八品トハ抑モ天地間ニ有形スル森羅萬象最
モ甲貝艸木虫魚鳥獸ノ各八類ヲ以テ八品ト
道フヘシ

○人々懐妊中ノ日數ノ説

一人々懐妊中ノ日數ハ二百七十四日八十五刻
余ト醫書ニアリ亦兩部神道ニハ二百七十日
ト教ヘアリ是ハ古人ノ説誠ニ然リ否々然ラ

サルヲ信ス奈何トナレハ余謹テ自身ニ例ス
一參見アリ何レモ咸ニ二百六十四日八十六
刻余ニ誕生セリ就テハ余カ門人流繼社中ノ
輩ヲ必ス二百六十五日間ヲ以テ懐妊ノ日數
ト確定スヘシ

○人々懐妊セシ十二支ヲ知ル説

一人々生レ日ヨリ二百六十五日後へ算へ當日
寅ナレハ演ノ小輪ナリ其月丑ナレハ結ノ中
輪ナリ其年子ナレハ滋ノ大輪ナリ其時子ナ
レハ豊ノ小小輪ナリ右四支合セテ此体ヲ滋

結演豊ト謂フ以テ天稟禍福ノ厚薄其遲速ノ
專行ヲ測リ知ルヘシ

○人々懐妊セシ十幹ヲ知ル説

一人々生レ日ヨリ二百六十五日後へ算への日
甲ナレハ甲ノ小輪ナリ其月癸ナレハ癸ノ中
輪ナリ其年壬ナレハ壬ノ大輪ナリ其時丁ナ
レハ丁ノ小小輪ナリ右四幹合セテ之レヲ壬
癸甲戌ト謂フ以テ天稟興運ノ厚薄該遲速ノ
專行ヲ量リ知ルヘシ

○人々懐妊セシ十幹枝ヲ直ニ掌中ニ知ル説

一人々懐妊セシ三輪ノ幹枝ヲ掌中ニ知ラント
セハ先ツ月ノ十幹ハ生レ月ノ次ナル幹ニ妊
メタリ十二支ハ生レ月ヨリ四ツ目先ハ支ニ
妊ルヘシ日ノ幹ハ生レ日ヨリ七ツ目先ノ幹
ニ妊リ支ハ生レ日ノ支ニ妊ルヘシ時ノ幹ハ
生レ時ノ次ナル幹ニ妊リ支ハ生レ時ヨリ四
目先ノ支ニ妊ルヘシ右ハ諸君年月日時ノ幹
ノ枝掌中ノ早見タルヘシ
地○十二支禍福善惡ノ説且未地即支ハ太陰
一十二支ノ禍福善惡ハ人ヲ既ニ十二支ノ内寅

卯巳此三支ハ天下ノ善宮トアリ亥子申酉午
 此五支ハ中宮トアリ辰戌丑未此四支ハ大禍
 惡宮トアリ是ハ洵宮學師ノ說誠ニ然リ否々
 然ラサルヲ信ス奈何トナレハ其說ク處ノ善
 宮ニ甚タ惡ナル行質アリ亦中宮ニ善惡ノ甚
 タシキモアリ亦惡宮ニ頗ル善ナル行質アリ
 之レヲ以テ之レヲ觀レハ兼ル幹枝ニ寄テ其
 限ニ非サルトハ豫テ余ノ著ス處ノ所以ナリ
 ○人々意見ニ異同アル說ハ六十ノ幹
 一抑モ生類ニ親子兄弟アリ其意一ナルハナシ

是ハ素ヨリ天稟幹枝ニ甲子乙丑ノ別アルヲ
 以テナリ奈何トナレハ先ツ善支ノ寅ト雖モ
 天符配偶ノ幹値ニ甲アリ丙アリ戊アリ庚ア
 リ壬アリ斯ノ如ク一支ニ五幹ノ遭的アリ他
 支皆之レニ準ス果ノ然レハ人々意見ニ別ア
 ルト、曾テ疑ヒアルヘカラス
 ○其人ニシテ着瞳異ニスル說
 人々愛子ニ數年文學ヲ與ヒ且資金ヲ募リ業
 ヲ求メ之レヲ愛子ニ與ルハ全ク親ノ慈悲ナ
 リト雖モ倘シ子ハ其業ヲ守ラス俄然他業ヘ

遷身シテ以テ之レヲ營業トセハ子ハ孝道ニ
 悖リ親ハ子ノ愛ニ溺レルニ似タレ凡各自天
 然固有ノ性質素ヨリ幹枝ニ別アレハナリ夫
 レ天然固有ノ別ナルハ所謂ル鷄雉鶩鶴ノ集
 卵アリ此四ツノ卵ヲ鷄ニタカセ必スハヤケ
 タル時ハ果シテ鷄ハ人家ヲ望ミ雉ハ藪ヲ望
 ミ鶩ハ濁池ヲ望ミ鶴ハ晴空ヲ望ムヘシ各鳥
 斯ノ如ク望ミ別ナルハ固ヨリ天稟其性質ノ
 別ナル所以ナリ実ニ尚フヘシ仮令小兒ノ奉
 公トセハ既ニ主家ヲ學校ト見ヨ其番頭タル

ヤ卒業生徒ト見ルモ豈可ナランヤ是レ然リ
 然ルヲ各々解期歸宅ノ際其主行ヲ保タス而
 已ナラス從事セシ業ヲ以テ營業トセス若シ
 他業ニ附テ親子ヲ營ム者ハ曩ニ主人ヘ使役
 中貴重ノ日時ヲ徒ラニ消遷シタルナリ是ハ
 殆ト蹇者ニ飛脚盲人ニ測量ヲ任スル如シ普
 ク天下ノ衆庶父母ノ推テ頼ムヘキハ子孫ノ
 速ク業ニ着テ最モ飢寒ニ苦マサルヲ樂ムヘ
 キヤ爰ニ意味深張ノ口傳アリ

○小兒出産順體ノ説

一父母アリ父ヲ種トシ母ヲ畑トシ男兒ハ母ノ
 大中輪且該行形質ヲ保生シ女兒ハ種ノ大中
 輪且該行形質ヲ保生スルモノハ天稟幹枝ノ
 順生ナレハ馬ノ天下衆庶中高名有徳ニ至ル
 へシ倘シ幹枝ノ然ラサル者ハ不幸ニ罹ルト
 雖モ兼ル幹枝ニ寄テ亦此限ニ非ス最モ口傳
 アリ

○父母ノ性氣且骨格凡小兒へ現出スル説
 一 小兒アリ其父ノ性氣ハ小兒ノ頭毛眼力ニ露
 レ母ノ骨格ハ則チ小兒ノ肉體骨格ニ露ル

シ蓋シ該理ニ溯レハ乃チ小兒ヲ見テ其父母
 ヲ知ル亦明カナリ

○夫婦備リテ小兒有無ノ説
 一 凡ソ人類丁年ノ男女ハ夫婦相和シテ始メテ
 一家ヲ脩ルト道ニ蓋シ夫婦ノ幹枝ニナラス
 貴賤其組立ヲ異ニシ富家ニ子無ク貧家ニ子
 有リ或ハ甲ノ家ハ貧シテ數人ヲ生シ乙ノ家
 ハ富テ一子モ生セス其他種々無量ノ異同ア
 リト雖モ結局世間ノ實況ヲ視ルニ意ニ適セ
 サルモノ尠ナカラズ宜ナリタ古語ニ曰ク結

言活草林大...
婚ノ后チ三年ヲ過キ子ナキ女ハ去ルヘシ是
レ誠ニ然リ否々然ラサルヲ信ス奈何トナレ
ハ此語ノ如キ貴重ハ人間ヲシテ試験ニ用ル
ニ異ナラス人類配偶ノ大禮豈斯ノ如キ徒ラ
ニ付スヘケン既ニ米麥スラ其田畠ヘ種ヲ蒔
クニ四時幹枝ニ適スル各位アリ若試ニ麥ヲ
夏蒔米ヲ冬蒔カハ如何ナル實ヲ結テヘキヤ
則チ人種懷妊ノ理豈此理ト同一ナレヲ得ン
ヤ左レハ男女天稟幹枝各線ノ引力出沒ノ適
當ヲ定メテ以テ結墜セハ幹枝ニ適スル賢ヤ

莊健ナル小兒ヲ生スルヲ予カ此學文上ニ
於テ保證スル處ナリト幹枝ノ如キ人ト
○幸不幸ノ説ト雖々細論ナレドモ大體テ
一抑モ人ハ天理幹枝ノ働キヨリ其進退ヲ教テ
ル、賜モノナレハ予輩ノ喋々述ル處ニ非サ
レ氏普ク父母ノ推テ依頼スヘキハ果シテ子
孫ノ業ニ附テ一家ヲ満足セシメントテ其望
スルモノトス何ントナレハ天子ハ民ノ父母
ト謂フヘシ是ハ三キハ童子モ能ク知ル處ナ
リ其童子ニ於テヨヤ充賢愚ノアルハ則チ幹

枝ノ組成ニ甲子乙丑ト別アル所以ナリ故ニ
 人ニ幹枝ノ大キ者ハナシ然レハ天稟幹枝ノ
 働キヲ知ラサレハ必ラス其身ノ貴キモ又知
 ル下ヲ得サラン凡ソ天下ニ不幸ナルハ人是
 ヨリ大ナルハナシ嗚呼恐レヘシ慎ムヘシ果
 シテ然レハ諸子一家脩整ノ爲此學術ヲ請來
 ラハ飽迄迎ヒ又歸ルモノハ訣シテ止メス執
 學モ幹枝ノ至理ヲ速ク曉脩セントスルモ志
 願ニヨリ變則怯ヲ以テ傳授スルモ改僻人ヲ
 福神トシ不改僻人ヲ貧忙神ト称ス然レレ

イマコトヲヨク
ホレクハヲトリヨ 余ハ決テ他ノ行ヒラ咎メス然リト

雖モ經濟ノ今日ハ詰果金穀ニ着望セサルヲ

得ス世ノ中ハ損シテ人ニ笑ハレテ
徳シテ人ニホメラレニケル 然レハ誰カ此學術ヲ天下

ノ公衆ニ導クモノハ恰モ社會ノ福神ト称ス

ベシ

○十二支ノ説

一十二支ハ十二獸ニ非ス四時十二別ノ強弱此

出沒ヲ十二獸ノ形チニ起シ之レヲ人躰ニ附

的シテ以テ之レヲ十二支ト道フ依テ十二支

ハ全ク十二獸ニ非ル下ハ現ニ其形チト文字

ト其働ノ異ルヲ推テ知ルヘシ

○十幹ノ説

一十幹ハ無位無形無現成ト雖モ四時出沒陰陽吹吹精神活働ノ原幹ニテ常ニ十二支ノ強弱長短緩急ヲ指揮スル根元ナレハ總テ位當沿革推遷ノ運氣嗚呼滿天ノ原素ナルヘシ

○十二支活用ノ為畧字ノ説

一子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥各十二支ヲ十二用要字ニ翻譯セハ滋結演豊奮止合老緩墮煉實此十二字ニ對テ以テ之レヲ活用スヘシ尚

活用便宜ノ為該十二支ニ對シシケエホフ

コロカ外レチ此片仮名ヲ各十二支ニ的テ且

十二支ニ導キ之レヲ活用專行スヘシ

○幹枝ハ三輪各位權行區域ノ説




一凡テ人々廿七迄ハ胎内ニ宿リタル日ノ天稟幹枝ノ權行ヲ活働ス猶ホ次ニ廿一七ヨリ四十七迄ハ宿リタル月ノ幹枝ノ權行ヲ活働ス將夕次ニ四十一七ヨリ六十七迄ハ宿リタル年ノ幹枝ノ權行ヲ活働ス其律次ニ六十一七

ヨリ以後終身迄ハ年月日各幹枝ノ三輪此參
 行ヲ交働ス下シ蓋シ幹ハ十層運動起運ハ人
 ヲ五戈迄宿旨ノ幹ノ位權ヲ活働シ次ハ六戈
 年ヲ十戈迄宿ル月ノ幹理ノ位權ヲ活働シ次
 ハ十一戈ヨリ十五戈迄宿ル年ノ幹理ノ位權
 ヲ活働シ次ハ十六戈ヨリ二十戈迄ハ宿ル幹
 理ニ溯リ前ノ順ニ五ケ年ツ、其摘要幹理ノ
 位權ヲ終身迄活働スヘキモノ也

○幹枝ノ各線引カ出沒活用ノ説
 一 幹枝ハ天地ノ精神也人心モ又然リ故ニ地球

上森羅萬像天然事物ノ出沒高低長短ノ進退
 ニ係ル四線七線十線歸線直線ト幹枝各線ノ
 引カ緩急遲速等ヲ能ク牽可ス之ヲ縱横自在
 ニ活働スル元機ナリ是ハ天稟奇中ノ奇則チ
 理中ノ理タラシムヘシ

天悟地知
 人心究理
幹枝術
 幹枝各
 線出沒引
 力圖解
 秘録
 初傳中ノ四卷

○四線出沒引カノ圖



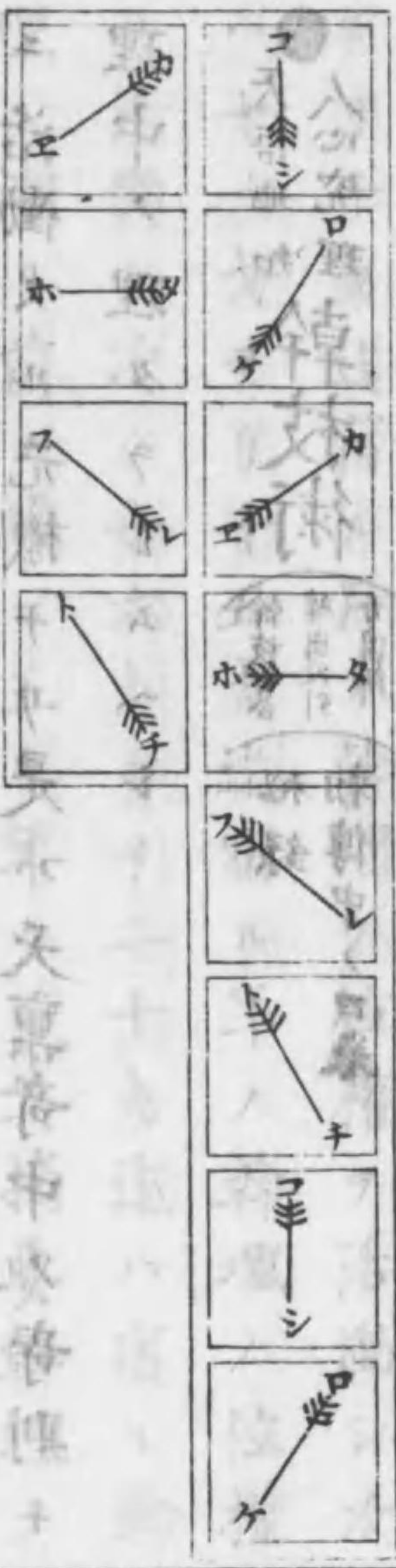









○七線出沒引力ノ圖



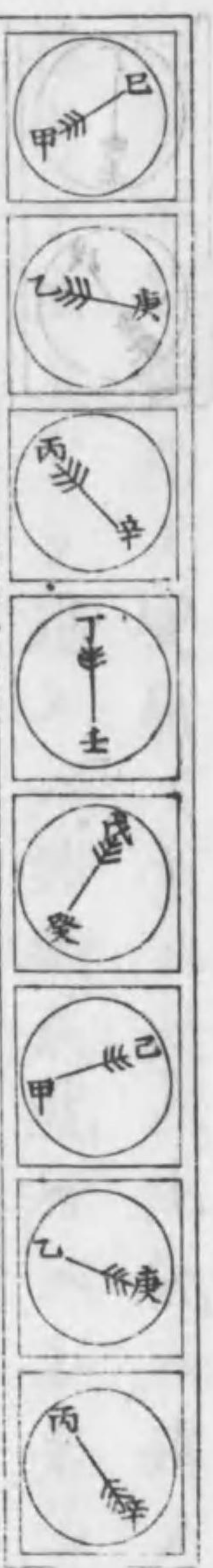
○十線出沒引力ノ圖



○歸線出沒引力ノ圖



○直線出沒引力ノ圖





○十六線出沒引カ圖解

口傳ニ告ク

○世線出沒引カ圖解

口傳ニ告ク

●天悟地知 人心究理 **幹枝術**
天稟秘録 改倅 初傳中ノニ卷

○シ支) 儉素ニシテ福分多シ △業ハ農商ニ備ルヘシ
 △志僻ハ昼夜ノ別ナク卑賤モ厭ハス只經濟

ノ働キラ主トス △此氣ハ諸願成就ス然レモ患
 與ノ點ヨリ不覺ヲ醸ス一アルヘシ △此進退吉
 凶禍福其他ハ出沒(ホコタシ)ヲ注意スヘシ最モ
 平素ノ行ヒヨリ事ノ厚薄アレモ兼ル幹枝ニ由
 テ其教示ニ口傳アルヘシ
 ○ケ支) 堅固ニシテ物事ヲ能ク守ルト雖モ官福
 至テ薄シ △業ハ長袖工務音樂獨身ニ備ルヘシ
 △志僻ハ正直ナレモ自分勝手ノ片意地ヨリ只
 氣六ツケ敷獨働ノ變屈ヲ主トス △此氣ハ始メ
 ノ推考ヲ主トシテ進メハ諸願成就スヘシ若シ

事半ニ變レハ果シテ不成ナルヘシ△此進退吉
 凶禍福其他ノ出沒(フロレケ)ヲ注意スヘシ最モ
 平素ノ行ヒヨリ事ノ厚薄アレハ兼ル幹枝ニ因
 テ其教示ニ口傳アルヘシ
 ○(エ支)演說建言ニ先達ナ有官福祿ノ出入最モ
 多シ△業ハ武術總督豪商ニ備ルヘシハ志僻ハ
 猛氣有又威ス氣アリ上級ニ臨ミテ英談賢者ノ
 働キヲ主トス△此氣ハ諸願成就ト雖モ大量且
 ツ身方ノ爲ニ金苦屢ナリ△此進退吉凶禍福其
 他ノ出沒(トカチエ)ヲ注意スヘシ最モ平素ノ行

ヒヨリ事ノ厚薄アレハ兼ル幹枝ニ據テ其教示
 ニ口傳アルヘシ
 ○(ホ支)人望愛敬官福祿アルヘシ△業ハ醫畫工
 農美職愛藝豊業ニ備ルヘシ△志僻ハ閑静ニシ
 テ穩カナリ又善級ナレハ知ラス々怠惰ノ働キ
 ヲ主トス△此氣ハ諸願成就ス乍去等閑ノ心ヨ
 リ不覺ヲ取ルナ有ヘシ△此進退吉凶禍福其他
 ノ出沒(コタシホ)ヲ注意スヘシ最モ平素ノ行ヒ
 ヲリ事ノ厚薄アレハ兼ル幹枝ニ由テ其教示ニ
 口傳アリ

●(フ支)怒氣奮振レテ自ラ官福ヲ破ル_レ有△業
 ハ雜事荒勇棟梁工務等ニ備ルヘシ△志僻ハ慢
 意我振ヨリ劔火ノ災害ヲ釀スヘシ又仇ヲ求メ
 ル働キヲ主トス△此氣ハ諸願成就シカタシ又
 成就スル時ハ速カナレ_レ_レ對談ニ動キアル故反
 テ災ノ元ニナルヘシ乍去進退ニ由テ幸福ヲ得
 ヘシ△此進退吉凶禍福其他ノ出沒(口レケフ)ヲ
 注意スヘシ最モ平素ノ行ヒヨリ事ノ厚薄アレ
_レ兼ル幹枝ニ寄テ其教示ニ口傳アルヘシ
 ○(ト支)行靜美麗ニシテ官福共ニ備ルヘシ△業

ハ萬物ニ吉也就中君子美藝美術ニ備ルヘシ△
 志僻ハ默然トシテ優靜ナレ_レ嫉妬ノ念ヨリ時
 ヲ疑ヒノ働キラ主トス△此氣ハ諸願成就ス進
 メハ尚確成ナルヘシ△此進退吉凶禍福其他ノ
 出沒(カチエト)ヲ注意スヘシ最モ平素ノ行ヒヨ
 リ事ノ厚薄アレ_レ兼ル幹枝ニ由テ其教示ニ口
 傳アルヘシ
 ●(コ支)勇賑最モ盛ニテ金穀ノ出入多ケレ_レ保
 タス贅友亦多カルヘシ△業ハ豪商愛藝贅賑飾
 術ニ備ルヘシ△志僻ハ陽氣ニシテ衆人ニ合シ

易ク又離レ易シ兎角賑易ナルヲ好ミテ短氣
自儘アレレ巧ミナシ殊ニ愛情深キヨリ人望ア
レ凡色溺贅用ノ働キヲ主トス△此氣ハ平和ニ
進メハ諸願成就スヘシ然レ凡午後ハ凶ナリ△
此進退吉凶禍福其他ノ出沒(タシホコ)ヲ注意ス
ヘシ最モ平素ノ行ヒヨリ事ノ厚薄アレレ凡兼ル
幹枝ニ因テ其教示ニ口傳アルヘシ

▲(口支)憂慮屈居ニ臨ミテ官福薄ク倍々住居ニ
勞スルヲ醸スヘシ△業ハ神僧尼且其工務美
術針務ニ備ルヘシ△志僻ハ器用ナレ凡事物人

種ヲ忌ミ嫌ヲ變屈ヨリ人ノ出入應對ヲ憚ルヲ
アリ然レ凡孝志ノ働キヲ主トス△此氣ハ心意
晴テ進メハ諸願成就ス若シ怠屈セハ果シテ不
成ナルヘシ△此進退吉凶禍福其他ノ出沒(レケ
フ口)ヲ注意スヘシ最モ平素ノ行ヒニヨリ事ノ
厚薄アレレ凡兼ル幹枝ニ由テ其教示ニ口傳アル
ヘシ

●(カ支)遁辞辨セニ勝レテ以テ勇誇官位ヲ求借
シテモ威振ヲ施スヘシ官福祿共ニ出入ノ變化
最モ多シ△業ハ豪商辨護世セニ先達遊藝奇業

計術ニ備ルヘシ△志僻ハ物好キニ又世話好キナリ然レ凡嫌好我慢專擅覆心ノ勵キラ主トス△此氣ハ諸願成就ス然ルニ勇威盛ナルヨリ終ニ不成ヲ釀スヘシ△此進退吉凶禍福其他ノ出沒(チエトカ)ヲ注意スヘシ最モ平素ノ行ヒヨリ事ノ厚薄アレ凡兼ル幹枝ニ因テ其教示ニ口傳アルヘシ

⊙(タ支)智湧善惡轉覆ニ煩ヒアリ官福祿共ニ出ヘ多シト雖モ終ニ不保△業ハ音樂美術計術醫畫諸藝ニ備ルヘシ△志僻ハ美行密計覆意勝敗

ノ勵キラ主トス△此氣ハ諸願成就ト雖モ其進退ニ口傳アリ△此進退吉凶禍福其他ノ出沒(シホ)ヲ注意スヘシ最モ平素ノ行ヒヨリ事ノ厚薄アレ凡兼ル幹枝ニ由テ其教示ニ口傳アルヘシ

●(レ支)怒氣意中ヲ煩シ官福至テ薄シ△業ハ嚴行儒術獨工ニ備ルヘシ△志僻ハ頑固隱惡悶行ヨリ劔火ノ害ニ罹ルヲアリト雖モ獨身鐵石ノ勵キラ主トス△此氣ハ早点ヨリ心晴々進メハ諸願成就ス然レ凡變屈悶心ヲ抱カハ何事モナ

行ス△此進退吉凶禍福其他ノ出沒(ケフ口レ)ヲ
 注意スヘシ最モ平素ノ行ヒヨリ事ノ厚薄アレ
 氏兼ル幹枝ニ據テ其教示ニ口傳アルヘシ
 ⊕(才支)短氣一途アリ諸事ノ決定專擅ヨリ官福
 破ルコト有然レ氏晚年ニ至レハ大德得ルコト有ヘ
 シ△業ハ書畫美術武術計術雜務ニ備ルヘシ△
 志僻ハ一念心嚴ヲ突ツ如ク亦短氣ニシテ巧ミ
 不勤善惡ニ臨ミ專ラ獨訣ノ働キヲ主トス△此
 氣ハ諸願成就ト雖モ進ミ過キテ反テ立戻ル形
 アリ△此進退吉凶禍福其他ノ出沒(エトカチ)ヲ

注意スヘシ最モ平素ノ行ヒヨリ事ノ厚薄アレ
 氏兼ル幹枝ニ由テ其教示ニ口傳アルヘシ
 一此傳ハ生レタル年月日時ヲ以テ活斷是非ヲ
 論スルニ非フ懐妊セシ天稟幹枝活用ノ真理
 此働ヨリ天下凡百ノ吉凶其他出沒進退ヲ先
 見教示スルモノナリ故ニ組合幹枝ニ由テ其
 一支ツ、悉ク口傳アリ該口傳トハ其理ヲ述
 ルコト聊カ惜ムニ非ス書ハ理ヲ盡スコト能ハサ
 レハナリ何ントナレハ氣術ニ曰ク眼モ口程
 ノ物ヲ言フ是レ果メ然リ然レハ則チ獨リ一語

ノ雜談ニモセヨ紙一單ヘト雖モ障子内外ノ
 應接ハ豈其理ヲ究メルコトヲ得セス況哉要點
 理密ニ於テヲヤ実ニ直接ナラサレハ其理ヲ
 了解スルニ道ナシ依之要點理密ハ皆ナ口傳
 ニ告クヘシ故ニ天下ノ衆民恐ラク迷ヒアル
 者ハ俱ニ陸續來ルハシ余ハ四海兄弟ノ爲其
 人ニ備ル天稟固有ノ真理幹枝ノ活働ニ由テ
 其進退ヲ教示スヘシ先ツ聽クハ一時也不知
 ハ豈末代ノ不幸ナラスヤ故ニ諸子此學術ヲ
 熟得シ中傳ハ昇級セハ改倅適業ヲ曉リ事ニ

巧拙アレモ悉ク遁災開運幸福ヲ得テ以テ子
 孫盛榮ニ至ルヘシ

● 天悟地知 人心究理 **幹技術**
天地人ヲ 宰可スル 秘録 初傳中ノ五卷

○ 十幹ノ元機

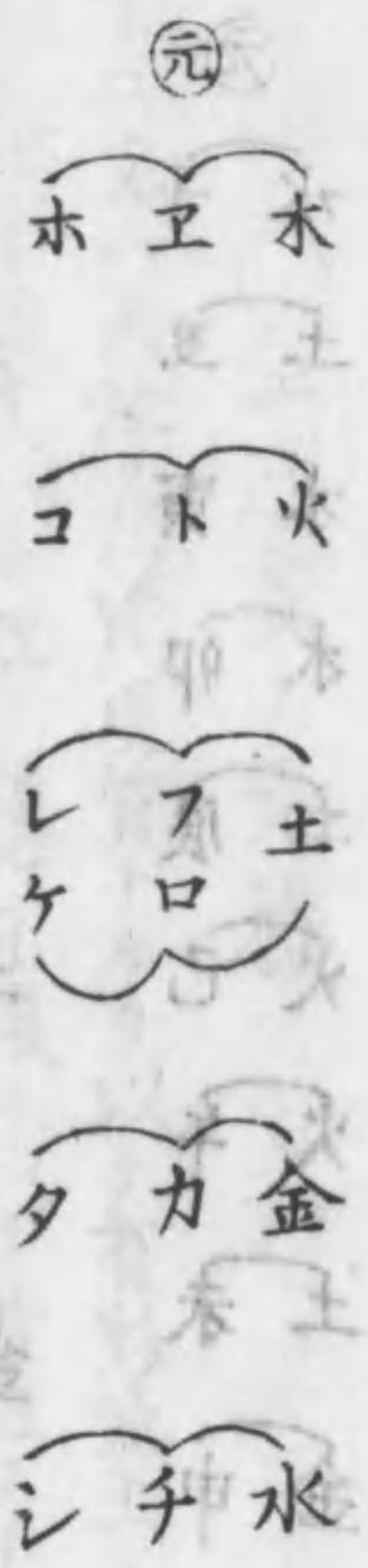
一 十幹ハ空天ノ精神ナルヲ以テ無位無形ナリ人類性質モ又
 然リ諛幹ハ天理ノ起ル元機ニシテ其主ル処ハ普ク星神天
 尺天數天針天命天運天造天護天時陽線時運引カ五聲吹吸
 息凸五行風雨雷震寒熱ノ類這ノ出沒ヲ未然ニ宰可スルノ
 機術ナリ係ル運用ノ委細ハ尚中傳ニ審カナリ

○十二支ノ元機

一十二支ハ天地各線ノ現實ナルヲ以テ有形地上ノ元種ナリ人體
 モ又然リ談支ハ地理ノ起ル元機ニシテ普通ノ十二獸ニ非ス然
 レ氏支數ヨリ發ル十二候ニ克ク徵和スル処ヨリ自然ノ符徵ニ
 辨用シタルモノナリ故ニ十二支ノ支字ト十二獸ノ獸ノ字ト其
 働キノ異ルヲ曉リ給ヒ就テハ支理ノ主ル処ハ普ク滿歲十二
 別ノ強弱四時四隅廿四節七十二候地數線路天現地見清濁輕重
 長短六及地味分野城郭方究水脉面相體相形相順逆ヲ始ノ森羅
 萬象ニ活動ヲ與ヒシノルノ機術ナリ係ル運用ノ委細ハ尚中傳
 ニ審カナリ

○幹枝順逆(五運)ノ元機

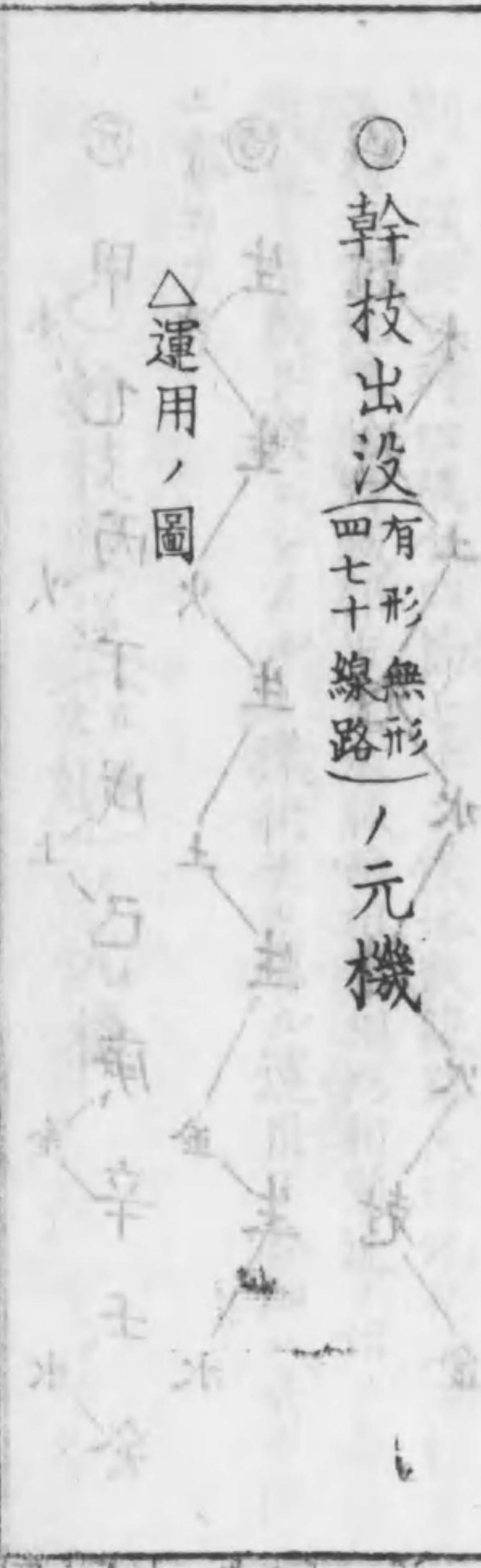




右幹枝五運ノ終リ此奥幹運支運自運
ノ變蘇ハ中傳ニ審カナリ

○幹枝出沒有形無形ノ元機
四七十線路

△運用ノ圖



○直線ノ元機



○四線七線十線歸線ノ元機

○生尅順逆暗辨線



右ハ生尅競動ノ内ニ順逆アリ是ハ口傳ヲ以テ之ヲ授ク
此奥天下未發ナル尅働生害ノ理アリ是ハ尚ホ中傳ニ審カナリ

○幹枝組織組立ノ元起

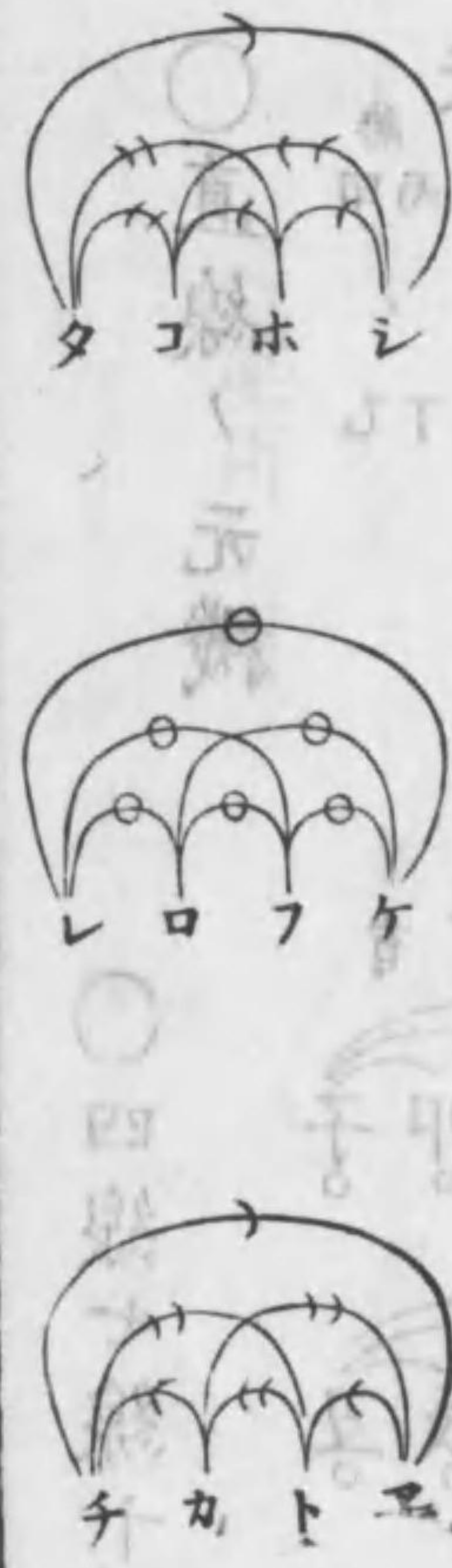


右ハ幹枝組織ノ順点如此ニ候也

附言

右生尅ノ内ニ機脉順逆變化反響アリ(生尅働害競働)此進退中傳ニ審カナリ

○幹枝生尅活働ノ元機



○初傳 幹枝術講義錄

第一 入門 證

○長久母 大照幹枝大神ハ

(人生其身ノ幹枝ヲ守ル大神ナルヲ悟ルメ)

(此義)ハ人生父子ニシテ其性質ノ異ルハ胎内ニ宿リ方年月日時ニ甲子乙丑ノ別アルカ如シ是故ニ大神ハ其身ノ生涯ヲ守護スルヲ明カナリ

第二 本人三稟ノ德僻(此義)ハ

神	體	糧
、	、	、
、	、	、
、	、	、
以上ノ十干ヲ魂ヒトス	以上ノ十二支ヲ體トス	以上ノ數字ヲ八品トス

(大稟)ノ幹枝ハ德七分有活シテ僻ハ七分ヲ存ス

(中稟)ノ幹枝ハ德五分有活シテ僻ハ五分ヲ存ス

(小稟)ノ幹枝ハ德三分有活シテ僻ハ三分ヲ存ス

故ニ僻ヲ去テ適業ヲ擴張セハ其德宇内ニ全活スサレ

ハ實地ニ就テ神靈ノ活策ヲ悟了セヨ

第三 (一枚目ノ末) (八品ノ説)

(此義)ハ甲。貝。草。木。虫。魚。鳥。獸ノ八類ナリ是ハ抑モ幹枝ト

共ニ推歩スルカ故ニ大明鏡ニ悉ク附要ス既ニ該鏡ヨ

リ幹枝ノ三稟ヲ組織スルニ日一日誤レバ生死利害ト

變化スルヲ以テ八品ハ幹枝組織ノ際ニ必要トス

第四 (三枚目ノ始) (八々懷妊セシ幹枝ヲ直チニ掌中ニ知ル説)

(此義)ハ先ツ十幹ハ(甲)ノ月ノ生レハ(乙)ノ月ニ妊ミ(乙)

ノ月ノ生レハ(丙)ノ月ニ妊ムベシ以下此順ニ準ス○十

二枝ハ(寅)ノ月ノ生レハ(己)ノ月ニ妊ミ(卯)ノ月ノ生レハ

(午)ノ月ニ妊ムベシ以下此順ニ準ス○日ノ十幹ハ(甲)ノ

日ノ生レハ(庚)ノ日ニ妊ミ(乙)ノ日ノ生レハ(辛)ノ日ニ妊

ムベシ以下此順ニ準ス○日ノ十二枝ハ(寅)ノ日ノ生レ

ハ同夕(寅)ノ日ニ妊ミ(卯)ノ日ノ生レハ(卯)ノ日ニ妊ムベ

シ以下此順ニ準ス○時ノ十幹ハ(壬)ノ時ノ生レハ(癸)ノ

時ニ妊ミ(癸)ノ時ノ生レハ(甲)ノ時ニ妊ムベシ以下此順

ニ準ス○時ノ十二枝ハ(子)ノ時ノ生レハ(卯)ノ時ニ妊
(丑)ノ時ノ生レハ(辰)ノ時ニ妊ムベシ以下此順ニ準ス然
レ田時ノ幹枝ニハ口傳アリ研究上見出スベシ

第五 (三枚目ノ末) (十二支禍福善惡ノ説)

(此義)凡ソ(寅卯巳)ハ天下ノ善宮ト雖モ(寅)ニ甲、丙、戊、庚、
壬、ト五別アリ而シテ其生尅應ニ於テハ既ニ(甲寅)ヲ應
相トス(丙寅)ヲ進生トス(戊寅)ヲ進尅トス(庚寅)ヲ被尅ト
ス(壬寅)ヲ被生トス夫レ斯ノ如ク天稟ノ差アリサレバ
德僻適業痼疾時運等ニ異同ノアルトハ明ナリ是故ニ
幹枝組織ノ至理ヲ脩テ公私ノ益ヲ圖ルベシ

第六 (五枚目ノ末) (小兒出產順體ノ説)

(此義)ハ先ツ父ハ大体ニシテ(エホフ)アリ母ハ中体ニシ
テ(トコロ)アリ此父母ニシテ(トコロ)ノ中体ノ男兒ヲ産
ム此小兒追テ豪商紳士ノ高運ニ達ス何トナレバ母ノ
三輪ヲ稟テ父ノ三輪ヲ四線ニ稟タルヲ以テナリ若シ
是レガ女兒ナレバ多僻ニシテ非命ノ病死カ必ス不運
ニ陥ルモ兼幹ニ寄テ異同アルヘシ然レモ幹枝ノ去僻
適業時運除病ヲ實踐セハ必ス長命ヲ保テ不運變テ高
運ニ到達スル無疑ヲ保證ス

第七 (六枚目ノ始) (夫婦備ハリテ小兒有無ノ説)

(此義)ハ貴賤ヲ問ハズ男女四線七線十線歸線直線此線
 理ノ合熟セハ(幹枝の理を修めてみきは世の中に)恰モ秋ノ土用ニ
 麥ヲ蒔春ノ土用ニ米ヲ蒔クト一般意ノ如クノ男女ヲ
 生スルコトヲ証明ス

第八 (七枚目ノ始) (幸不幸ノ説)

(此義)ハ人生其働キハ幹枝ノ左右ナルニ人トシテ其身
 ニ備ハル幹枝ノ德備ヲ知ラザレバ行路難ヲ避ル不能
 カ故ニ處世ノ不幸是ヨリ大ナルハナシトノコトナリ
(幸は徳不幸は僻のなすことぞ)既ニ幹枝ノ甲子乙丑ノ理ノ年月日
僻去りてこそ子孫繁榮時ニ離レザルヲ以テ人身ニ幹枝ノ離レザルハ明ナリ

(幹枝の理の人のかたはは福)サレバ斯理ヲ修メル時ハ高運ニ達
神と貧乏神の社ろなりけりスル故ニ天下公衆ノ鏡トナルベシ

第九 (八枚目ノ始) (十二枝ノ説)

(此義)ハ十二支ニ(子)ノ文字ヲ用ツ、鼠ヲ以テ導クハ鼠
 ノ動作(子)ノ理ニ能ク感スルヲ以テナリ以下皆此順ニ
 準ス尤モ兼ル十幹ニ寄テ大同小異變化アルベシ

第十 (八枚目ノ末) (十幹ノ説)

(此義)ハ幹ハ無形ニシテ目耳手ニ取レズ且水ニ溺レズ
 火ニ燒ケズ細大變蘇ノ神術ナリ是ヲ悟ルハ奥傳以上
 ノ腦力ニアリ尤モ之ヲ單言スレハ動物ノ(生)テ居ルト

ハ(息出入)ノ言ニテ不老不死ノ原理ナリサレハ体ハ息
入人物ニシテ魂ハ体ヲ指揮スル大元機ナルベシ

第十(九枚目ノ始)

(幹枝三輪各位
權行區域ノ説)

(此義)ハ人生幹枝ノ權行ヲ廿才四十才六十才ト三別シ
先ツ(甲丁丙)此人ノ廿才迄ハ(丙)ノ權行ヲ要シ四十才迄ハ
(丁)ノ權行ヲ要シ六十才迄ハ(甲)ノ權行ヲ要ス以下皆此
ノ理ニ準ス而シテ○幹ハ位權ヲ五才ツ、ニ働トハ前
記(甲丁丙)五才迄ハ(エ)ニ(丙)ノ位權アリ十才迄ハ(エ)ニ(丙丁)
ノ位權アリ十五才迄ハ(エ)ニ(丙丁甲)ノ位權アリ廿才迄
ハ(エ)ニ(丙)ノ位權充滿ス廿五才迄ハ(ケ)ニ(丁)ノ位權アリ

三十才迄ハ(ケ)ニ(丁甲)ノ位權アリ三十五才迄ハ(ケ)ニ(丁
甲丙)ノ位權アリ四十才迄ハ(ケ)ニ(丁)ノ位權充滿ス四十
五才迄ハ(シ)ニ(甲)ノ位權アリ五十才迄ハ(シ)ニ(甲丙)ノ位
權アリ五十五才迄ハ(シ)ニ(甲丙丁)ノ位權アリ六十才迄
ハ(シ)ニ(甲)ノ位權充滿ス故ニ是理ヲ脩メル時ハ遁災開
運自在ナルガ故ニ進テ公私ノ益ヲ圖ルベシ

第十二(九枚目ノ末)

(幹枝各線引カ
出沒活用ノ説)

(此義)ハ人ハ勿論天地ノ活動モ悉ク幹枝ノ左右ト云フ
ナリ蓋シ宇宙間有形無形細大ノ一切該活動ノ至理
ハ皆幹枝各線ノ伸縮ニ係ル大元機ナリ實ニ斯術ノ活

働ハ曠古奇理中ノ理タル天下ニ動カスベカラザル
神靈ノ活策ヲ悟了セヨ

第十三 (十枚目ノ始) (四線出沒引力ノ圖)

(此義)ハ十二支ノ本座四線一着ノ原理ナリ譬ヘハ志願
ノ件(シ)ノ日ニ出願セハ遲速アレモ其可非必ス(ホ)ノ日
ニアルベシ若シ(ケ)ノ日ニ出願セハ(フ)ノ日ト知ルベシ
他モ皆此順ニ準ス然レ共非ヲ可ニ達セン活動ノ應用
ハ中傳ヲ脩テ其自在ヲ得

第十四 (其ノ二) (七線出沒引力ノ圖)

(此義)ハ十二支ノ本座七線二着ノ原理ナリ既ニ志願ノ

件(シ)ノ日ニ出願セハ遲速アレモ其可非必ス(コ)ノ日ニ
アルベシ若シ(ケ)ヲ要セハ(ロ)ノ日ト知ルベシ他モ皆此
順ニ準ス以下同上

第十五 (其ノ三) (十線出沒引力ノ圖)

(此義)ハ十二支ノ本座十線三着ノ原理ナリ既ニ志願ノ
件(シ)ノ日ニ出願セハ遲速アレモ其可非必ス(タ)ノ日ニ
アルベシ若シ(ケ)ヲ要セハ(レ)ノ日ト知ルベシ他モ皆此
順ニ準ス以下同上

第十六 (其ノ四) (歸線出沒引力ノ圖)

(此義)ハ十二支ノ本座歸線四着ノ原理ナリ既ニ志願ノ

件(シ)ノ日ニ出願セハ遅速アレヒ其可非必ス(シ)ノ日ニ
アルベシ若シ(ケ)ヲ要セハ(ケ)ノ日ト知ルベシ他モ皆此
順ニ準ス以下同上

第十七(其ノ五) (直線出沒引力ノ圖)

(此義)ハ十干ノ直線限リ出沒ニシテ十二支ヘ對シ各
出沒ノ伸縮遲速ヲ起スノ引カナリ以下同上

第十八(其ノ六) (十六線出沒引力圖解)

(此義)ハ死治ノ日ヲ知ル原理也最モ中傳ニ徵テ了得ス

第十九(其ノ七) (世線出沒引力圖解)

(此義)ハ生死ノ日ヲ知ル原理也最モ奧傳ニ徵テ明了ス

● 講義 解釋 幹枝術實要錄

(第 一) (シ)此出沒ハ(ホコタシ)云々

(此義)ハ幹枝ノ上部ト雖備且息業備ヲ起セハ不運ハ勿
論結果徒浪非人罹罪ノ外道ナシ是ニ反テ下等ト雖去
僻適業ヲ進行セバ該幹枝ノ線路ニ志願必ス成就ス既
ニ明智ハ(戊シ)ノ占才力アリ故ニ幹枝ノ起運ノ時ニ進
マハ天下永ク治ムル大德アリキヲ憫レ自身ノ幹枝ニ
備ハル德僻適業起運ノ時期ヲ知ヲサル爲ニ彼ノ口傳
ノ秘密僻ヲ起テ勝利アレヒ僻ノ勝利ハ永續ナク忽ナ
起僻對正ノ線路ニ滅ヒタリ是ハ幹枝ノ自然天下起僻

ノ鏡ナリサレハ斯術ハ脩身及國益前知ノ神術ナリ依
テ有志者ハ此理ヲ脩テ國家公私ノ益ヲ圖ルベシ

(第...)(ケ)此出沒ハ(ヲロレケ)云々

(此義)ハ幹枝ノ上部ト雖僻且怠業僻ヲ起セバ不運ハ勿
論結果徒浪非人罹罪ノ外道ナシ是ニ反テ下等ト雖去
僻適業ヲ進行セバ該幹枝ノ線路ニ志願必ス成就ス既
ニ天海僧正ハ(丁ケ)ノ堅才力アリ故ニ仙傳ノ支理ヲ脩
テ自身ノ德僻適業起運ノ時期ヲ悟リ早クモ彼ノ口傳
ノ秘密僻ヲ去テ德川家康公ノ大補佐ヲ務メラレ結果
該實功對正ノ線路ニ的テ慈元大師ト成タルハ幹枝ノ

自然天下去僻ノ鏡ナリ實ニ斯術ハ脩身及國益前知ノ
神術故ニ有志者ハ此理ヲ脩テ公私ノ益ヲ圖ルベシ

(第...)(エ)此出沒ハ(トカケエ)云々

(此義)ハ幹枝ノ上部ト雖僻且怠業僻ヲ起セバ不運ハ勿
論結果徒浪非人罹罪ノ外道ナシ是ニ反テ下等ト雖去
僻適業ヲ進行セバ該幹枝ノ線路ニ志願必ス成就ス既
ニ德川家康公ハ(壬エ)ノ仁才力アリ特偶然ニ幹枝ノ至
理ヲ悟リテ彼ノ口傳ノ秘密僻ヲ去テ人物ヲ見出シ位
置ヲ授ケ已ニ人ノ德僻適業起運ノ時期ヲ前知スル天
海僧正ニ補佐管ヲ許シタル如ク總テ(壬エ)ノ御進退ノ

ミ依テ仁德益盛ニシテ天下ヲ永ク治メ尙ホ線路ニ的
 テ東照宮神社ト成タルハ幹枝ノ自然天下去僻ノ鏡ナ
 リサレハ斯術ハ脩身及國益前知ノ神術ナリ是故ニ有
 志者ハ此理ヲ脩メテ國家公私ノ益ヲ圖ルベシ

(第...)(ホ)此出沒ハ(コタシホ)云々

(此義)ハ幹枝ノ上部ト雖僻且怠業僻ヲ起セバ不運ハ勿
 論結果徒浪非人罹罪ノ外道ナシ是ニ反テ下等ト雖去
 僻適業ヲ進行セバ該幹枝ノ線路ニ志願必ス成就ス既
 ニ源賴朝公ハ(丁ホ)ノ令才力アリ故ニ幹枝ヲ補佐スル
 人ト共ニ進退セバ天下萬歳ノ大德アリキヲ慙レ自身

ニ備ハル幹枝ノ德僻適業起運ハ時期ヲ不知爲ニ彼
 口傳中疑僻ヲ起シ實ニ僻ハ恐ルベシ遂ニ起僻對正
 ノ線路ニ的テ滅セタリ是ハ幹枝ノ自然天下起僻ノ鏡
 ナリサレハ斯術ハ脩身及國益前知ノ神術ナリ依テ有
 志者ハ此理ヲ脩テ國家公私ノ益ヲ圖ルベシ

(第...)(フ)此出沒ハ(コレケフ)云々

(此義)ハ幹枝ノ上部ト雖僻且怠業僻ヲ起セバ不運ハ勿
 論結果徒浪非人罹罪ノ外道ナシ是ニ反テ下等ト雖去
 僻適業ヲ進行セバ該幹枝ノ線路ニ志願成就スルニ彼ノ
 石川五右衛門ハ(庚フ)ノ俠才力アリ故ニ幹枝ヲ脩テ進

退セバ義俠海外(才轟)カス名譽大徳アリキヲ憫レ自身
 ノ幹枝ニ備ハル徳僻適業起運ノ時期ヲ知ラサル爲ニ
 口傳ノ秘密僻ヲ義俠ニ應用シ故ニ起僻對正ノ線路々々
 ニ天下ニ汚名ノ滿延シタルハ幹枝ノ自然天下起僻ノ
 鏡ナリサレハ斯術(ハ)脩身及國益前知ノ神術ナリ依テ
 有志者ハ此理ヲ脩テ國家公私ノ益ヲ圖ルベシ
(第 一 卷) (ト)此出沒(カ)カト云々
 (此義)ハ幹枝ノ上部ニ雖僻且怠業僻ヲ起セバ不運ハ勿
 論結果徒浪非人罹罪ノ外道ナシ是ニ反テ下等ト雖去
 僻適業ヲ進行セバ該幹枝ノ線路ニ志願必ス成就ス既

ニ楠公(ハ)辛トノ信才力アリ故ニ幹枝ノ至理ヲ脩テ進
 退セバ志望意ノ如クナリキヲ實ニ遺憾ニハ自身ノ幹
 枝ニ備ハル徳僻適業起運ノ時期ヲ知ラサル故ニ遂ニ
 打死シダレト無僻ノ爲ニ該實功對正ノ線路ニ的テ官
 幣神社ト成タルハ誠ニ幹枝ノ自然天下ノ人ノ鏡ナリ
 サレハ斯術(ハ)脩身及國益前知ノ神術ナリ依テ有志者
 ハ此理ヲ脩テ國家公私ノ益ヲ圖ルベシ
(第 一 卷) (コ)此出沒(タ)タシホコ云々
 (此義)ハ幹枝ノ上部ト雖僻且怠業僻ヲ起セバ不運ハ勿
 論結果徒浪非人罹罪ノ外道ナシ是ニ反テ下等ト雖去

僻適業ヲ進行セバ該幹枝ノ線路ニ志願必ス成就ス彼ノ織田信長ハ(甲)ノ勇才力アリ故ニ幹枝ノ至理ヲ脩テ進行セバ天下ヲ永占スル大徳アリキヲ憫レ自身ノ幹枝ニ備ハル徳僻適業起運ノ時期ヲ知ラサル故ニ口傳ノ中ニモ最モ禁スベキ短量ノ僻ヲ起シ其ノタメ起僻對正ノ線路ニ破レタリ是ハ幹枝ノ自然天下起僻ノ鏡ナリサレハ斯術ハ脩身及國益前知ノ神術ナリ依テ有志者ハ此理ヲ脩テ國家公私ノ益ヲ圖ルベシ

(第 口)此出沒ハ(レケフ)云々

(此義)ハ幹枝ノ上部ト雖僻且怠業僻ヲ起セバ不運ハ勿

論結果徒浪非人罹罪ノ外道ナシ是ニ反テ下等ト離去僻適業ヲ進行セバ該幹枝ノ線路ニ志願必ス成就ス彼ノ天一坊ハ(癸)ノ奇才力アリ故ニ幹枝ヲ脩テ進退セバ前後稀ナル護君聰明ノ大徳アリキヲ憫レ自身ノ幹枝ニ備ハル徳僻適業起運ノ時期ヲ知ラサル爲ニ口傳中ニモ最モ慎ムベキ僻ヲ起シタリ神明忽チ起僻對正ノ線路ヲ待テ枝理ヲ修メシ大岡越前公(壬)ノ一言ニ(癸)ノ大僻ヲ看破シタリ實ニ幹枝ノ自然天下起僻ノ鏡ナリサレハ斯術ハ脩身及國益前知ノ神術ナリ依テ有志者ハ此理ヲ脩テ國家公私ノ益ヲ圖ルベシ

(第...)(カ)此出沒ハ(チエトカ)云々

(此義)ハ幹枝ノ上部ト雖僻且怠業僻ヲ起セバ不運ハ勿論結果徒浪非人罹罪ノ外道ナシ是ニ反テ下等ト雖去僻適業ヲ進行セバ該幹枝ノ線路ニ志願必ス成就ス既ニ秀吉公ハ(丙カ)ノ敏才カアリ故ニ特偶然ニ自身ノ德僻適業起運ノ時期ヲ悟リ早クモ彼ノ口傳ノ秘密僻ヲ去テ適務ヲ擴張セシタメ該實功對正ノ線路々ニ上身シ尙線路ニ的テ豐公神社ト成タルハ幹枝ノ自然天下去僻ノ鏡ナリ依テ斯術ハ脩身及國益前知ノ神術ナレバ有志者ハ此理ヲ脩テ國家公私ノ益ヲ圖ルベシ

(第...)(ダ)此出沒ハ(シホコタ)云々

(此義)ハ幹枝ノ上部ト雖僻且怠業僻ヲ起セバ不運ハ勿論結果徒浪非人罹罪ノ外道ナシ是ニ反テ下等ト雖去僻適業ヲ進行セバ該幹枝ノ線路ニ志願必ス成就ス彼ノ源義經ハ(癸タ)ノ智才カヲ揮ヒ豪傑ヲ服サシムル非凡ノ智アルニモ抱ハラズ他僻ノタメ(丁ホ)ノ線路ニ的テ蝦夷ニ落タルハ慙レ自身ノ幹枝ニ備ハル德僻適業起運ノ時期ヲ知ラサル爲ナリ是ハ幹枝ノ自然天下無實ノ鏡ナリ依テ無實對正ノ線路來ラハ公然銘譽ノ稱号下ルベシサレハ斯術ハ脩身及國益前知ノ神術故ニ

有志者ハ此理ヲ脩テ國家公私ノ益ヲ圖ルベシ
（第...）（レ）此出沒ハ（ケフコレ）云々

（此義）ハ幹枝ノ上部ト雖僻且怠業僻ヲ起セバ不運ハ勿
論結果徒浪非人罹罪ノ外道ナシ是ニ反テ下等ト雖去
僻適業ヲ進行セバ該幹枝ノ線路ニ志願必ス成就ス既
ニ管原道實（公ハ（甲レ）^{（庚壬）}ノ義才毫神力アルニモ抱ラ
ズ自身ノ幹枝ニ備ハル徳僻適業起運ノ時期ヲ知ラザ
ル爲ニ他僻ヲ知ルニ由ナク遂ニ筑紫ニ流罪サルモ
該無實對正ノ線路々ニ神義露ハレ尙線路ニ的テ天滿
宮神社ト成タルハ（實ニ幹枝ノ自然天下徳僻ノ鏡ナリ

ハ斯術ハ脩身及國益前知ノ神術ナリ依テ有志者ハ此
理ヲ脩テ國家公私ノ益ヲ圖ルベシ

（第...）（ナ）此出沒ハ（エトカナ）云々

（此義）ハ幹枝ノ上部ト雖僻且怠業僻ヲ起セバ不運ハ勿
論結果徒浪非人罹罪ノ外道ナシ是ニ反テ下等ト雖去
僻適業ヲ進行セバ該幹枝ノ線路ニ志願必ス成就ス既
ニ和氣清鷹公ハ（乙ナ）^{（甲乙）}ノ巧才義俠力ノアルニモ抱
ハラズ自身ノ幹枝ニ備ハル徳僻適業起運ノ時期ヲ知
ラザレバ奈何セン他僻ヲ知ルニ由ナク遂ニ大隅ニ流
罪サルモ該無實對正ノ線路々ニ明白シ尙線路ノ明

治七年（^レ甲）ニ護王大明神トナリ續テ通用紙幣ノ中ニ肖像ノ顯レタルハ實ニ幹枝ノ自然天下德僻ノ鏡ナリサレバ斯術ハ脩身及國益前知ノ神術ナリ依テ有志者ハ此理ヲ脩テ國家公私ノ益ヲ圖ルヘシ

（第...）（干ト支ノ類働）此義ハ...

- 一（甲）ノハタラキハ（エ）ニ類ス 一（乙）ノハタラキハ（ホ）ニ類ス
- 一（丙）ノハタラキハ（ユ）ニ類ス 一（丁）ノハタラキハ（ト）ニ類ス
- 一（戊）ノ働ハ（フ）又ハ（レ）ニ類ス 一（己）ノ働ハ（ロ）又ハ（ケ）ニ類ス
- 一（庚）ノハタラキハ（カ）ニ類ス 一（辛）ノハタラキハ（タ）ニ類ス
- 一（壬）ノハタラキハ（シ）ニ類ス 一（癸）ノハタラキハ（チ）ニ類ス

（第二十）（十八枚目ノ始）（十幹ノ元機）

（此義）ハ宇宙間ノ無形細大ノ活動ヲ前知スルノ大機術ナリ依テ實地ノ研究シツ、悟ルベシ

（第二十一）（十八枚目ノ末）（十二枝ノ元機）

（此義）ハ宇宙間ノ有形細大ノ活動ヲ前知スルノ大機術ナリ以下同上

（第二十二）（十九枚目ノ始）

- 一（元）（甲ト乙ハ木也）（此義）ハ十幹ノ特姓ニシテ（甲乙）ヲ木ノ姓ト云フ以下皆此理ニ準シテ組織スベシ
- 一（吉）（木火土金水）（此義）ハ五姓ノ相生ニシテ大吉ノ

一部分ナリ天下皆此理ニ由テ組織スベシ

一 (凶) (尅尅尅尅尅) (此義)ハ五姓ノ相尅ニシテ大凶ノ

一部分ナリ天下皆此理ニ由テ組織スベシ

一 (吉) 競 (木火土金水) (此義)ハ五姓ノ競同ニシテ同姓

大吉ノ部分ナリ天下皆此理ニ由テ組織スベシ

一 (元) (子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥) (此義)ハ十二支

五姓ノ原理ナリ天下皆此理ニ由テ組織スベシ

(第二十三) (二十枚目ノ始) (直線ノ元機) (此義)ハ

夫レ十干ハ無形ナリ其至理ハ不老不死ノ大元機ニシ

テ其活動ニ於ケル水ニ濁レズ火ニ燒ズ而シテ大地球

ヲ包含スル十二支ノ全部ヲ養生スルノ神術ナリ

無 甲乙 既ニ甲ノ出沒ハ己ニ變蘇ス丙ハ辛ナ

天 丙丁 以下皆此順ニ準ス此線ヲ直線ト云

形 庚辛 是ハ天下無形ノ一切其吉凶ヲ前

壬癸 (知スルノ神靈活策ナルヲ悟了セヨ)

(第二十四) (四線七線十線歸線ノ元機) (此義)ハ

十二支ハ大地球ノ外部十二方ニ位シテ恰モ落鴈ノ形

ノ如シ依テ球上ノ一般大ハ世界小ハ時計ノ時間或ハ

羅針盤尙彼ノ一ダースト云モ夫レ皆十二支ノ數ノ長

短伸縮ヲ組織スルノ外天下ニ道ナキヲ悟了セヨ

子○歸 丑○歸 寅○歸
卯○歸 辰○歸 巳○歸

地 有 形
午○歸 未○歸 申○歸
酉○歸 戌○歸 亥○歸

既ニ〇四線トハ(シ)ヨリ(ホ)(ホ)ヨリ(コ)(コ)ヨリ(タ)(タ)ヨリ
(シ)是ナリ〇七線トハ(シ)ヨリ(コ)(コ)ヨリ(シ)是ナリ〇十線
トハ(シ)ヨリ(タ)(タ)ヨリ(コ)(コ)ヨリ(ホ)(ホ)ヨリ(シ)是ナリ〇歸線
トハ(シ)ヨリ(シ)(ケ)ヨリ(ケ)(エ)ヨリ(エ)(ホ)ヨリ(ホ)(フ)ヨリ(フ)(ト)
ヨリ(ト)(コ)ヨリ(コ)(ロ)ヨリ(ロ)(カ)ヨリ(カ)(タ)ヨリ(タ)(レ)ヨリ(レ)

(ナ)ヨ(リ)(ナ)是ナリ以上ハ天下ノ有形細大一切ノ出沒皆
之ニ歸ヌ〇假令ハ茲ニ患者アリ輕症ハ四線ニ治ス中
患ハ七線ニ治ス長症ハ十線ニ治ス重症ハ歸線ニ治ス
ヘシ尙患者一般ハ皆此順ニ準ス然レモ兼ル十幹ニ寄
テ遲速アルベシ此理ハ中傳ヲ合セテ悟了セヨ

(第二十五) (生尅順逆暗號線) (此義)ハ

- 一 相生ノ部(ホ)―(コ)木生火是ナリ以下相生此線ニ準ス
- 一 相尅ノ部(エ)―(木)金尅木是ナリ以下相尅此線ニ準ス
- 一 競同ノ部(エ)―(エ)木同木是ナリ以下鏡同此線ニ準ス
- 一 順生ノ部(エ)―(ト)木生火是ナリ以下順生此線ニ準ス

一逆尅ノ部(タ_レ半_エ)金尅木是ナリ以下逆尅此線ニ準ス
一歳(第二十六)(三十枚目ノ末) (幹枝組織組立ノ元起(此義)ハ

茲ニ甲子歳(ニ生_レタル人アリ若シ生_レ月日不詳ナレ
ハ即チ(甲_シ)ヲ以テ其德僻起運ノ吉凶ヲ悟ルヘシ

茲ニ乙丑歳舊曆九月生_レニテ生_レ日ノ不詳ナル時ハ
即チ(甲_丁)ヲ以テ其德僻起運ノ吉凶ヲ悟ルヘシ

茲ニ文化二年(乙_丑)閏八月九日生ノ男士アリ此三稟(甲_丁丙_辰)
ヲ以テ其德僻起運ノ吉凶ヲ悟リ而シテ本年本月ノ幹

枝ニ徴シ尙吉凶ヲ確定セバ遁災開運ニ達スベシ
(第二十七) (幹枝生尅活動ノ元機(此義)ハ六一四ノ出野書

茲ニ(シ_ホコ_タ)アリ此生尅同線ノ線路ニ由テ利害アリ
茲ニ(ケ_フロ_レ)アリ此同線強柔ノ線路ニ由テ利害アリ
茲ニ(エ_トカ_ナ)アリ此生尅同線ノ線路ニ由テ利害アリ
(第二十八) 去僻成德の導話

○人毎に僻は邪心の其事あるぞ
信用か、ぬやうにせよ

○天が下僻をてがらにするもの、
其行ひと末を見よ

○僻去りて受持業を勵みあは
金も名譽もとり次第あり

人生其身ニ天稟幹枝ノ非ザルハナシ依テ該至理ヲ知
ラザレバ僻ノタメニ不運ニ際會スル者天下十中ノ九
ヲ下ラス實ニ人ニ害ナルモノハ世ニ僻ヨリ大ナルハ
ナシ是故ニ衆庶斯術ヲ脩メテ進退セバ遭災開運ニ達
スル自在ナルカ故ニ一家ノ繁榮ハ勿論富國強兵ノ基
ナルヲ以テ上下之ヲ脩メ揮テ其敏德敏權ヲ海外萬國
ノ鏡ニナサシメムトヲ希望ス

右ハ初傳解釋講義終



明治十五年五月一日著作
明治十六年三月十一日御届
明治廿三年十月廿九日増補印刷
明治廿三年十月三十日増補出版
明治廿三年十一月十一日増補印刷
明治廿三年十一月一日増補再版
明治廿九年十二月廿八日増補三版印刷
明治廿九年十二月卅一日増補三版出版

著述人兼 發行所 神道木島幹枝教會本院總長
大教正 木島大照齋



印刷人兼 所 門人 貫井定太郎

發行所 神道木島幹枝教會本院

東京市淺草區猿屋町十七番地

終